

2025年3月期第1四半期 決算説明資料

2024.07.30

TIS株式会社

© 2024 TIS Inc.

- TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- それでは、本日15:30に発表しました、当社グループの第1四半期決算の内容についてご説明いたします。

2025年3月期第1四半期 業績概要

- ・ 前年同期比増収、営業利益は小幅減益ながら想定線。
- ・ 大型案件のピークアウトや不採算案件の影響により収益性は前年同期を下回る。
- ・ 受注高・受注残高は「ソフトウェア開発」の積み上がりが牽引し、前年同期比増加。

- ・ はじめに、2ページをご覧ください。
- ・ 今回の決算のハイライトです。
- ・ ポイントは、前年同期比増収、営業利益は小幅減益となりましたが、これは想定線であること
- ・ 収益性については、大型案件のピークアウトや不採算案件の影響により、前年同期を下回る結果となったこと
- ・ 一方で、受注高・受注残高については、ソフトウェア開発が積み上がったことで前年同期比増加となったこと
- ・ 以上の3点です。
- ・ 不採算案件の影響は当初の見込みを上回っており、引き続き抑制に努めてまいりますが、2025年3月期第1四半期は概ね通期計画に沿った進捗であると考えています。

2025年3月期第1四半期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。（P.16除く）

(説明省略)

2025年3月期第1四半期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2025年3月期第1四半期 業績ハイライト（前年同期比）



- ・顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確な対応を通じた事業拡大等により、増収。
- ・営業利益は小幅減少となったが、大型案件のピークアウト影響等を踏まえれば想定線での着地。

（百万円）	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	129,429	134,055	+4,625	(+3.6%)
営業利益	14,310	14,061	▲248	(▲1.7%)
営業利益率	11.1%	10.5%	▲0.6P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,147	10,679	+532	(+5.2%)
四半期純利益率	7.8%	8.0%	+0.2P	—

・営業外収益：1,216百万円（前期比 +51百万円）

・特別利益：1,987百万円（前期比 +1,214百万円）
→投資有価証券売却益 1,983百万円 等

・営業外費用：206百万円（前期比 +59百万円）

・特別損失：716百万円（前期比 +492百万円）

*：前期に実施した連結子会社化に伴う連結業績への影響は売上高24.8億円、営業利益3.4億円（のれん償却後）。

© 2024 TIS Inc.

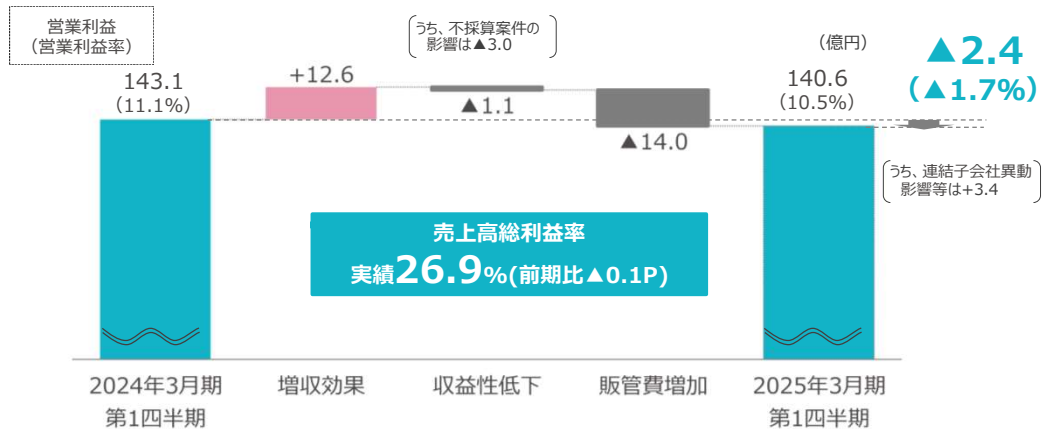
■ 5

- ・ それでは、5ページをご覧ください。
- ・ 2025年3月期第1四半期の業績概要です。
- ・ 期初から見込んでいた大型案件のピークアウトの影響はあるものの、全体としては事業拡大を進めることができ、売上高は前年同期比3.6%増の1,340億円となりました。
- ・ 営業利益は前年同期比1.7%減の140億円となりましたが、大型案件のピークアウト等の影響が大きかったためであることから、想定線での着地です。
- ・ 四半期純利益は、主に政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益の寄与が大きく、前年同期比5.2%増の106億円となりました。
- ・ なお、前期に連結子会社化した日本ICS、レスコの業績影響は、合わせて売上高が約25億円、のれん償却後営業利益が約3億円でした。

2025年3月期第1四半期 営業利益要因別増減分析（前年同期比）



・小幅減益ながら、大型案件のピークアウトや不採算案件の影響により、収益性が低下。



成長投資（人材投資 / 研究開発投資 / ソフトウェア投資）
前年同期比▲0.0（売上原価：+0.6 販管費：▲0.7）

＜販管費増減＞	
連結子会社異動影響等	+13.0
成長投資	▲0.7
施策推進	+2.2
その他経費	▲0.5
計	+14.0

© 2024 TIS Inc.

6

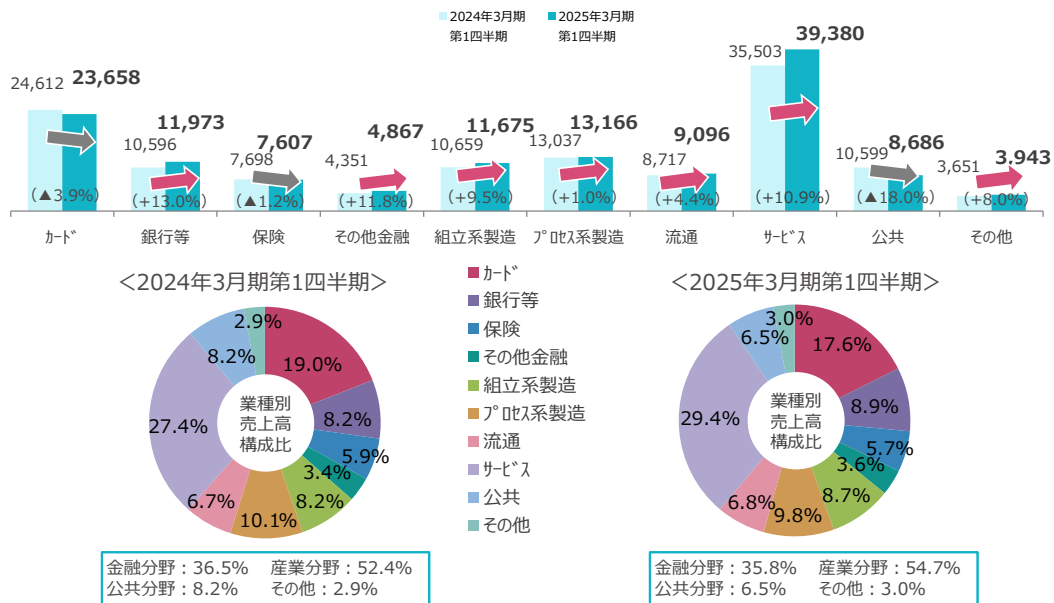
- ・ 6ページは営業利益の要因別増減です。
- ・ 増収効果による利益増を、販管費の増加等が打ち消す形となり、前年同期比2.4億円の営業減益となりました。
- ・ 売上高総利益率は、大型案件のピークアウトによる収益性低下や不採算案件の影響を受けたものの、収益性改善を引き続き着実に進めることができたことに加えて、連結子会社異動影響等の効果もあり、前年同期比で若干低下にとどまっています。
- ・ また、営業利益率は0.6ポイント低下となりましたが、売上高総利益率が低下した影響によるものです。
- ・ 当第1四半期の不採算案件は約6億円で、主に広域ITソリューションで約3億円発生しています。あらためてグループ全体での品質向上施策を強化し、不採算案件の未然防止に努めてまいります。

2025年3月期第1四半期 顧客業種別売上高



・全体的に好調なトレンドは継続。カード、公共の減少は共に大型案件のピークアウトが主因。

(百万円)



© 2024 TIS Inc.

7

- ・ 7ページをご覧ください。顧客業種別売上高の状況です。
- ・ 大型案件のピークアウト影響でマイナスとなった「カード」「公共」の影響を除けば、全体的に好調なトレンドが継続しました。
- ・ 中でも「サービス」「銀行」「組立系製造」が全体を牽引しました。
- ・ 「サービス」については、日本ICSの業績反映の貢献が大きく、「銀行」については海外を中心に伸びました。
- ・ また、「組立系製造」については、既存のお客様中心に好調に推移しました。

**2025年3月期第1四半期
主要セグメント別損益状況（前年同期比）**



(百万円)		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	
オフアリングサービス	売上高	28,018	34,001	+5,983	(+21.4%)
	営業利益	1,157	2,206	+1,049	(+90.7%)
	営業利益率	4.1%	6.5%	+2.4P	—
BPM	売上高	10,300	10,008	▲292	(▲2.8%)
	営業利益	727	836	+108	(+15.0%)
	営業利益率	7.1%	8.4%	+1.3P	—
金融IT	売上高	26,737	24,974	▲1,762	(▲6.6%)
	営業利益	4,081	3,075	▲1,006	(▲24.7%)
	営業利益率	15.3%	12.3%	▲3.0P	—
産業IT	売上高	28,670	29,840	+1,170	(+4.1%)
	営業利益	4,393	4,359	▲34	(▲0.8%)
	営業利益率	15.3%	14.6%	▲0.7P	—
広域ITソリューション	売上高	41,784	41,060	▲723	(▲1.7%)
	営業利益	4,061	3,355	▲706	(▲17.4%)
	営業利益率	9.7%	8.2%	▲1.5P	—

オファリングサービス : 決済、基盤系、経営管理分野へのIT投資拡大に加え、M&A効果等により、増収増益。海外事業も寄与。
 BPM : 既存のデータエントリー業務の苦戦が継続し減収となる中、引き続きコストコントロールも実施し増益。
 金融IT : クレジットカード系の根幹先顧客および公共系金融機関の大型開発案件のピークアウト影響等により減収減益。
 産業IT : サービス・製造・流通等の幅広い業種でのIT投資拡大に伴い増収も製造業大型開発案件の反動減等により減益。
 広域ITソリューション : 医療系販売案件の反動減等のほか、不採算案件や体制強化コスト増等により、減収減益。

© 2024 TIS Inc.

8

- ・ 8ページは、主要なセグメント別の状況です。
- ・ 「オフアリングサービス」は決済、基盤系、経営管理分野でIT投資需要をしっかりと取り込めたことに加え、日本ICSを含めた連結子会社異動影響等により、増収増益となりました。海外事業も貢献しています。
- ・ 「BPM」については、既存のデータエントリー業務の苦戦が続き、減収となりましたが、継続的に実施しているコストコントロールも貢献し、増益となりました。
- ・ 「金融IT」については、クレジットカード系根幹先顧客や公共系金融機関の大型案件のピークアウト影響が想定通りに出たことから、減収減益となりました。
- ・ 「産業IT」については、サービス・製造・流通等の幅広い業種でのIT投資拡大により増収となりましたが、製造業の大型開発案件の反動等により減益となりました。
- ・ 「広域ITソリューション」は、医療系販売案件の反動減の影響の他、金融系顧客の不採算案件や体制強化コストの増加等により減収減益となりました。

2025年3月期第1四半期 受注状況（当期受注高）



- ・受注高はソフトウェア開発が牽引し、前年同期比増加。産業ITやオフリングサービスが伸長。
- ・ソフトウェア開発以外の減少は、主として販売の減少や運用の計上タイミングによるもの。

(百万円)		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高		89,536	91,391	+1,855	(+2.1%)
うちソフトウェア開発		59,070	62,124	+3,054	(+5.2%)
主要セグメント別					
オフリング サービス	当期受注高	16,531	18,117	+1,585	(+9.6%)
	うちソフトウェア開発	10,630	12,228	+1,597	(+15.0%)
BPM	当期受注高	10,236	9,204	▲1,032	(▲10.1%)
	うちソフトウェア開発	3,524	2,677	▲847	(▲24.0%)
金融IT	当期受注高	12,423	10,933	▲1,489	(▲12.0%)
	うちソフトウェア開発	9,018	8,581	▲437	(▲4.9%)
産業IT	当期受注高	21,534	24,274	+2,739	(+12.7%)
	うちソフトウェア開発	17,430	20,699	+3,268	(+18.8%)
広域IT ソリューション	当期受注高	28,809	28,862	+52	(+0.2%)
	うちソフトウェア開発	18,465	17,937	▲527	(▲2.9%)

© 2024 TIS Inc.

9

- ・ 9ページからは受注状況についてのご説明です。
- ・ まず、受注高全体はソフトウェア開発を中心に堅調に積み上がり、前年同期比2.1%増の913億円となりました。
- ・ ソフトウェア開発以外の受注高は、前年同期比で減少となりましたが、主に販売の減少や運用の計上タイミングによるもので、特段ご心配いただく状況ではありません。

2025年3月期第1四半期 受注状況（期末受注残高）



・受注残高は前年同期比増加。金融ITの減少は大型案件のピークアウト影響によるもの。

（百万円）		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	
期末受注残高		141,830	146,042	+4,211	(+3.0%)
うちソフトウェア開発		94,606	96,687	+2,080	(+2.2%)
主要セグメント別					
オフアリング サービス	期末受注残高	25,634	29,510	+3,876	(+15.1%)
	うちソフトウェア開発	14,070	16,663	+2,593	(+18.4%)
BPM	期末受注残高	7,887	7,224	▲662	(▲8.4%)
	うちソフトウェア開発	7,751	6,982	▲768	(▲9.9%)
金融IT	期末受注残高	34,855	32,252	▲2,602	(▲7.5%)
	うちソフトウェア開発	25,507	20,900	▲4,606	(▲18.1%)
産業IT	期末受注残高	31,059	31,541	+482	(+1.6%)
	うちソフトウェア開発	21,178	23,940	+2,761	(+13.0%)
広域IT ソリューション	期末受注残高	42,393	45,512	+3,119	(+7.4%)
	うちソフトウェア開発	26,099	28,200	+2,101	(+8.1%)

© 2024 TIS Inc.

10

- ・ 10ページは期末受注残高の状況です。
- ・ 受注残高全体についても、ソフトウェア開発が積み上がり前年同期比増加となりました。
- ・ 「金融IT」の減少は大型案件のピークアウトの影響によるものです。

2025年3月期第1四半期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

参考資料

- 続きまして、2025年3月期の通期業績見通しについてご説明します。

2025年3月期 業績予想ハイライト ※変更なし



- ・大型案件の反動減の影響がある中、事業拡大により増収営業増益の計画。
- ・当期純利益の減少等は、前期に計上した営業外収益及び特別利益の反動減等が要因。

(百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	前期比	
売上高	549,004	555,000	+5,995	(+1.1%)
営業利益	64,568	66,500	+1,931	(+3.0%)
営業利益率	11.8%	12.0%	+0.2P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	48,873	44,800	▲4,073	(▲8.3%)
当期純利益率	8.9%	8.1%	▲0.8P	—
1株当たり当期純利益 (円)	203.28	192.55	▲10.73	(▲5.3%)
ROE (*1)	16.0%	13.9%	▲2.1P	—

*1：2025年3月期のROEは、試算値。

© 2024 TIS Inc.

12

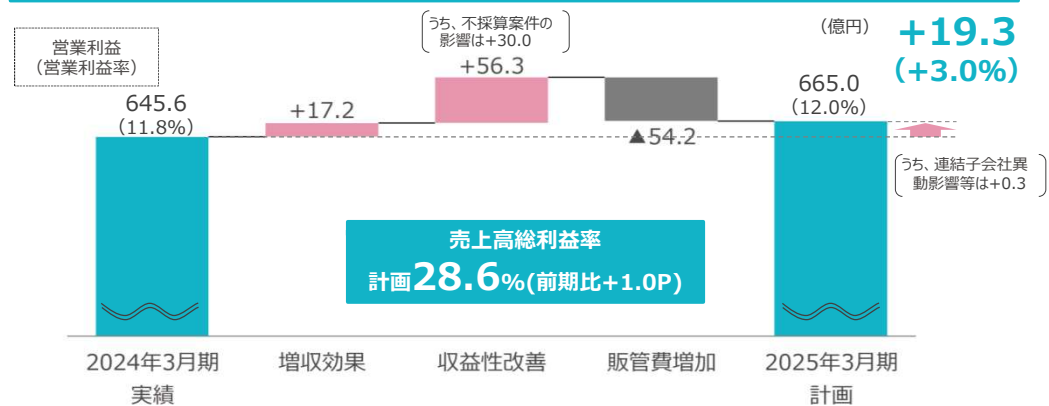
- ・ 12ページは2025年3月期の通期業績予想です。
- ・ 冒頭で申し上げた通り、第1四半期の実績は、通期計画に対して概ね想定通りに進捗しているため、現時点では2025年3月期の業績見通しの変更はございません。
- ・ 大型案件のピークアウト影響はまだ残るものの、第2四半期には産業IT・広域ITソリューションを中心に新規受注等も見込まれるほか、案件獲得・受注積み上げ等を推進することで、期初計画の達成をより確かなものにしてまいります。
- ・ 以上で、説明を終了いたします。

2025年3月期

営業利益要因別増減分析（予想） ※変更なし



・人材への投資をはじめとする積極的な成長投資を継続。高付加価値ビジネスの提供や生産性向上施策の推進等による利益増により、営業増益を見込む。



成長投資（人材投資 / 研究開発投資 / ソフトウェア投資）

前期比+6.0（売上原価：+3.0 販管費：+3.0）

<販管費増減>

連結子会社異動影響等	+15.8
成長投資	+3.0
施策推進	+18.6
その他経費	+16.8
計	+54.2

© 2024 TIS Inc.

13

（説明省略）

2025年3月期

主要セグメント別損益状況（予想）※変更なし



（百万円）		2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	前期比	
オファリング サービス	売上高	130,759	140,800	+10,040	(+7.7%)
	営業利益	7,659	8,600	+940	(+12.3%)
	営業利益率	5.9%	6.1%	+0.2P	－
BPM	売上高	41,953	43,000	+1,046	(+2.5%)
	営業利益	4,551	4,500	▲51	(▲1.1%)
	営業利益率	10.8%	10.5%	▲0.3P	－
金融IT	売上高	106,304	98,500	▲7,804	(▲7.3%)
	営業利益	15,185	12,000	▲3,185	(▲21.0%)
	営業利益率	14.3%	12.2%	▲2.1P	－
産業IT	売上高	121,896	125,500	+3,603	(+3.0%)
	営業利益	18,287	19,600	+1,312	(+7.2%)
	営業利益率	15.0%	15.6%	+0.6P	－
広域IT ソリューション	売上高	172,376	171,000	▲1,376	(▲0.8%)
	営業利益	18,497	21,500	+3,002	(+16.2%)
	営業利益率	10.7%	12.6%	+1.9P	－

オファリングサービス	： 決済やその他幅広いサービスの拡大や海外事業の収益性改善により増収増益。
BPM	： データエントリー業務等からプロセス最適化等の注力領域へ事業ポートフォリオ転換推進も、過渡期により、増収減益。
金融IT	： 既存顧客での複数の大型案件の反動減の影響が大きく、減収減益。
産業IT	： 製造業やサービスを中心とした既存顧客の深耕やERP関連のIT投資需要の取り込みにより増収増益。
広域ITソリューション	： 前期の販売の反動減等により減収も、生産性向上や不採算案件抑制により増益。

© 2024 TIS Inc.

14

（説明省略）

2025年3月期第1四半期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2025年3月期第1四半期
セグメント別売上高（事業別）※外部顧客向け



(百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	
オファリングサービス	24,928	30,951	+6,023	(+24.2%)
ソフトウェア開発	10,288	11,742	+1,454	(+14.1%)
運用・クラウドサービス	8,526	10,483	+1,957	(+23.0%)
製品・ソフトウェア販売	6,113	8,724	+2,610	(+42.7%)
BPM	9,798	9,522	▲275	(▲2.8%)
ソフトウェア開発	3,222	2,954	▲268	(▲8.3%)
運用・クラウドサービス	6,385	6,270	▲114	(▲1.8%)
製品・ソフトウェア販売	189.0	297	+107	(+56.8%)
金融IT	26,366	24,635	▲1,731	(▲6.6%)
ソフトウェア開発	15,336	12,420	▲2,915	(▲19.0%)
運用・クラウドサービス	9,635	10,812	+1,177	(+12.2%)
製品・ソフトウェア販売	1,395	1,402	+6	(+0.5%)
産業IT	28,540	29,741	+1,201	(+4.2%)
ソフトウェア開発	18,946	19,824	+878	(+4.6%)
運用・クラウドサービス	6,516	6,319	▲197	(▲3.0%)
製品・ソフトウェア販売	3,077	3,597	+520	(+16.9%)
広域ITソリューション	39,277	38,639	▲638	(▲1.6%)
ソフトウェア開発	20,063	19,906	▲157	(▲0.8%)
運用・クラウドサービス	13,922	14,418	+496	(+3.6%)
製品・ソフトウェア販売	5,291	4,314	▲977	(▲18.5%)
その他	517	564	+47	(+9.1%)
合計	129,429	134,055	+4,625	(+3.6%)
ソフトウェア開発	67,857	66,848	▲1,009	(▲1.5%)
運用・クラウドサービス	44,986	48,305	+3,319	(+7.4%)
製品・ソフトウェア販売	16,067	18,336	+2,268	(+14.1%)
その他	517	564	+47	(+9.1%)

© 2024 TIS Inc.

16

(説明省略)

2025年3月期上期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）※変更なし



(百万円)		2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	前年同期比	
売上高		267,488	270,000	+2,511	(+0.9%)
営業利益		30,387	30,000	▲387	(▲1.3%)
営業利益率		11.4%	11.1%	▲0.3P	－
親会社株主に帰属する四半期純利益		20,307	20,300	▲7	(▲0.0%)
四半期純利益率		7.6%	7.5%	▲0.1P	－
主要セグメント別					
オフリング サービス	売上高	60,148	68,600	+8,451	(+14.1%)
	営業利益	2,659	3,300	+640	(+24.1%)
	営業利益率	4.4%	4.8%	+0.4P	－
BPM	売上高	20,994	21,400	+405	(+1.9%)
	営業利益	2,108	2,100	▲8	(▲0.4%)
	営業利益率	10.0%	9.8%	▲0.2P	－
金融IT	売上高	54,106	50,000	▲4,106	(▲7.6%)
	営業利益	7,886	6,000	▲1,886	(▲23.9%)
	営業利益率	14.6%	12.0%	▲2.6P	－
産業IT	売上高	58,326	60,300	+1,973	(+3.4%)
	営業利益	8,470	9,200	+729	(+8.6%)
	営業利益率	14.5%	15.3%	+0.8P	－
広域ITソリューション	売上高	85,535	82,000	▲3,535	(▲4.1%)
	営業利益	9,013	9,300	+286	(+3.2%)
	営業利益率	10.5%	11.3%	+0.8P	－

© 2024 TIS Inc.

17

(説明省略)

2025年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）※変更なし



(百万円)		2024年3月期 下期	2025年3月期 下期	前年同期比	
売上高		281,515	285,000	+3,484	(+1.2%)
営業利益		34,181	36,500	+2,318	(+6.8%)
営業利益率		12.1%	12.8%	+0.7P	—
親会社株主に帰属する四半期純利益		28,566	24,500	▲4,066	(▲14.2%)
四半期純利益率		10.1%	8.6%	▲1.5P	—
主要セグメント別					
オフアリング サービス	売上高	70,611	72,200	+1,588	(+2.2%)
	営業利益	5,000	5,300	+299	(+6.0%)
	営業利益率	7.1%	7.3%	+0.2P	—
BPM	売上高	20,958	21,600	+641	(+3.1%)
	営業利益	2,442	2,400	▲42	(▲1.7%)
	営業利益率	11.7%	11.1%	▲0.6P	—
金融IT	売上高	52,197	48,500	▲3,697	(▲7.1%)
	営業利益	7,298	6,000	▲1,298	(▲17.8%)
	営業利益率	14.0%	12.4%	▲1.6P	—
産業IT	売上高	63,569	65,200	+1,630	(+2.6%)
	営業利益	9,816	10,400	+583	(+5.9%)
	営業利益率	15.4%	16.0%	+0.6P	—
広域ITソリューション	売上高	86,840	89,000	+2,159	(+2.5%)
	営業利益	9,484	12,200	+2,715	(+28.6%)
	営業利益率	10.9%	13.7%	+2.8P	—

© 2024 TIS Inc.

下期計画＝通期計画－上期計画

18

(説明省略)

2025年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①



発表日付	タイトル
2024年4月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2024年4月4日	TIS、静岡銀行に「ブランドデビットプロセッシングサービス」を導入
2024年4月12日	インテックのスマートホームアプリ「UCHITAS（ウチタス）」がスマートホーム通信規格「Matter」対応
2024年4月15日	日本ICS、「税理士360構想」を掲げ、新サービス第一弾として「ICSデジタルボスト」を提供開始
2024年4月16日	TIS、共感AIチャット「ふう」の実証実験を開始
2024年4月16日	「ネクスウェイ本人確認サービス」に「法人確認オプション」を追加
2024年4月17日	TIS、ポケットカードの会計システムに経費精算クラウド「Spendia」を連携し仕訳入力を自動化
2024年4月17日	インテック、ジャパンメディックの基幹システム（生産管理、販売管理）をAWSへ移行
2024年4月18日	クオリカ、サイボウズパートナー評価制度「Cybozu Partner Network Report 2024」インテグレーション部門で3年連続2つ星の評価を獲得
2024年4月23日	登録管理ネットワーク、自動車販売店からの所有権解除請求をオンラインで受け付ける“業界における新サービス”を提供開始
2024年4月26日	ネクスウェイ、SMS送信サービスの自治体初の全庁導入を発表 広島県三原市が「SMSLINK」を採用
2024年4月26日	インテック、富山県に「エリアデータ活用サービス」を提供し、マルチテナント型のデータ連携基盤を構築
2024年4月30日	TIS、「キャリアオーナーシップ経営AWARD2024」にて優秀賞を受賞
2024年5月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2024年5月1日	TIS、AWSの導入・移行を支援する「ITトランスフォーメーションパッケージ」の提供を開始
2024年5月7日	TIS、ダイキン工業に「加盟店向けQR決済ゲートウェイサービス」を導入
2024年5月7日	ネクスウェイ、本人確認を迅速かつ低コストに行う「オンライン本人確認サービスLite」を提供開始
2024年5月8日	TISとナッジ、資本業務提携契約を締結し、「ライト版クレジットカードプロセッシングサービス」を提供
2024年5月9日	アグレックス、Salesforce Japan Partner Award 2024を受賞
2024年5月13日	TIS、「UiPath Japan Partner Awards 2023」にてInnovation Partner of the Yearを受賞
2024年5月14日	アグレックス、日本損害保険協会にポリゴンデータ「ADO-POLYGON」を提供し、能登半島地震における地震保険金支払いの迅速化に貢献
2024年5月14日	インテック、災害や障害に強い最上級のレジリエンスを実装した、新EDIサービス「EDIプラットフォームサービス」を提供開始
2024年5月15日	マイクロメイツ、eラーニングソリューション「楽々てすと君」のイメージキャラクターが誕生

（説明省略）

2025年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2024年5月16日	トークン型観光周遊パスで新たな利用者体験を実現
2024年5月16日	アグレックス、BPMを活用した業務変革とDX人材の育成を実現する共創型ワークショップ「プロセス変革チャレンジ」を提供開始
2024年5月17日	マイクロメイツ、「楽々てすと君」の新規契約で、情報セキュリティの脅威・対策が学べるeラーニングコンテンツの無償提供を開始
2024年5月22日	インテック、「mcframe Award 2024」で「Customer Success Award」を連続受賞
2024年5月23日	インテック、電子帳票システム「快速サーチャーGX」クラウド版にOCR機能を追加
2024年5月30日	アグレックス、水災リスクに応じた保険料の公平化にむけて、火災保険参考純率と契約者情報を紐づける「ADO-SUISAI」を提供開始
2024年6月6日	TIS、「ServiceNow IT Service Management」導入から運用状況の可視化までを最短3ヶ月で実現する「ITSMクイックスタートパッケージ」を提供開始
2024年6月7日	インテック、東京大学医学部附属病院のデジタルパソロジー導入を支援
2024年6月11日	北陸電力とインテック、エネルギー・リソース・アグリゲーション事業に関する協業開始
2024年6月12日	インテックと毎日放送、エンタメントにおけるWeb3.0時代の次世代デジタルID「SSI」を活用した国内最大級の実証実験を実施
2024年6月12日	JCB、日本IBMとTISと基幹システム内のデータの迅速な利活用と、システム資源の最適化に向けたデータコアサービスの実装プロジェクトを開始
2024年6月13日	TIS、企業の複数のAWSアカウントを包括管理するAWSマルチアカウントスイートを提供開始
2024年6月13日	インテック、栃木銀行モバイル端末に対応したfcube（エフキューブ）「預り物件管理サービス」を提供
2024年6月19日	インテック、金融機関向けに生成AIを活用した業務特化型のソリューションの試行版を提供開始
2024年6月20日	TIS、セガサミーのERPリリース時の機能ギャップを「会計処理エンジン」で吸収
2024年6月21日	AWSの「AWS Ambassadors」「2024 Japan AWS Top Engineers」「2024 Japan AWS All Certifications Engineers」「2024 Japan AWS Jr. Champions」に総勢36名のTIS社員が選出
2024年6月24日	ULTRA、プロスポーツチーム「REJECT」のVTuber天鬼ぶるとのタイアップカードを発行開始
2024年6月24日	TIS、富士通ゼネラルのERP移行と同時並行で経費精算クラウド「Spendia」を導入
2024年6月25日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2024年6月25日	日本ICS、三菱UFJ銀行の「対顧客DX支援スキーム」に参画
2024年6月26日	TIS、AIを活用した「予測型経営DXサービス」に在庫適正化支援機能を追加
2024年6月26日	マイクロメイツ、企業のマニュアルを5つの観点で評価する「マニュアル無料診断」を開始
2024年6月28日	TISの実写観光メタバースサービス「Buralit」、日本各地の観光スポットをシームレスに回遊できるオープンワールド型にリニューアル

© 2024 TIS Inc.

20

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)